ディスクロージャー実務を支援する
PRONEXUS

平成３０年３月２８日

各　位

会 社 名　　株式会社プロネクサス
代表者名　　代表取締役社長　上野 剛史
（コード番号　７８９３　東証第一部）
問合せ先　取締役執行役員社長室長 大和田雅博
電話番号　　０３－５７７７－３１４５

英国ＩＲ協会「ＩＲベストプラクティス・ガイドライン」の日本企業向け編集版「ＰＦＰ2018」の発刊について

株式会社プロネクサスは、ディスクロージャー・ＩＲ実務に関する情報支援サービスの専門会社として、日本の上場企業と株主・投資家のコミュニケーションの質的向上に貢献する取り組みを進めています。その一環として、2010 年から英国ＩＲ協会の「ＩＲベストプラクティス・ガイドライン」（以下「本ガイドライン」）日本語版の作成に参画し、このたび 9 冊目となる 2018 年版を日本企業向け編集版「ＰＦＰ2018」（以下「本書」）として発刊の運びとなりましたのでお知らせいたします。

記

１．日本企業向け編集版「ＰＦＰ2018」作成の背景と当社の参画目的

株主・投資家向けのアニュアルレポート・統合報告書、ウェブサイトやソーシャルメディアは、誰でも入手・アクセスできるＩＲツールです。しかし、これと決まった書式やテンプレートがあるわけではありません。そうした中、英国ＩＲ協会はこれらＩＲツールの「望ましい姿」の指針を定めた本ガイドラインを随時作成・更新してきました。「ＰＦＰ2018」は英国ＩＲ協会の了解のもとに日本企業向けに編集を行ったものです。

株式会社プロネクサスは、本ガイドライン日本語版の制作ワーキング・グループである「Project Future Proof」（以下、「ＰＦＰ」）の活動趣旨に賛同し、8 年前より参画してまいりました。

日本においても、「日本版スチュワードシップ・コード」や「コーポレートガバナンス・コード」の浸透に伴い、企業に求められるコミュニケーションの質が変化し、開示情報が深化・増加する傾向が続いております。最適なコミュニケーションのあり方を模索する企業に、本ガイドラインをよりわかりやすい形でご提供し、より良いＩＲのご提案をしていくことを参画の目的としています。

２．日本企業向け編集版「ＰＦＰ2018」の特長

（１）全訳から日本企業向け編集版へ

これまでは英国ＩＲ協会のベストプラクティス・ガイドラインの全訳でしたが、今回英国ＩＲ協会の了解を得た上でＰＦＰの視点で日本企業向けに編集し「ＰＦＰ版」といたしました。

（２）「アニュアルレポート」「ウェブサイト」「ソーシャルメディア」「ＩＲプレゼンテーション」の指針を提供

本書では、ＩＲ活動の重要な要素である「アニュアルレポート（統合報告書含む）」「ウェブサイト」「ソーシャルメディア」「ＩＲプレゼンテーション」の４分野について指針を提供しています。

（３）日本国内の上場企業の実例に基づいた具体例を明示

ＩＲ担当者の皆様に明確なイメージを持っていただくため、日本国内の上場企業の好事例等をガイドラインや解説文と併せて紹介しています。

（４）国内外関係組織からの推奨

英国ＩＲ協会ゼネラル・マネージャー、日本ＩＲ協議会専務理事各位からご推奨をいただいております。

３．「ＰＦＰ2018」のご提供

株式会社プロネクサスは、営業担当を通じてご要望のあるお客様を対象に本書を無償で提供するほか、ＰＦＰメンバーによるセミナーの開催を予定しております。

■「ＰＦＰ2018」の配布開始予定日

2018 年 4 月 6 日（金）～

■「ＰＦＰ2018」に関するセミナー開催予定日時

2018 年 4 月 9 日（月）15 時～　株式会社プロネクサス　セミナールーム

■ＰＦＰのメンバー

埼玉学園大学　米山徹幸氏

株式会社ファイブ・シーズ　越智義和氏

株式会社 2021 コミュニケーションズ　デビッド・ラッセル氏

株式会社プロネクサス　臼井俊文

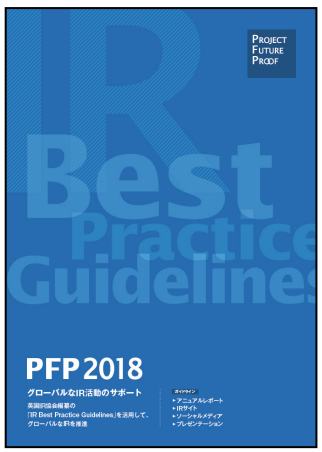
■英国ＩＲ協会（ＩＲＳ）について

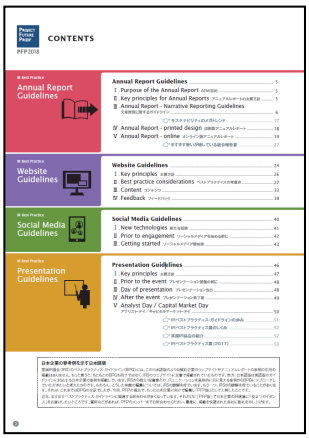
英国ロンドンを拠点とする欧州最大のＩＲ団体。会員は英国・ヨーロッパを中心に約 600 名。ＩＲに関する提言、ＩＲ担当者向け教育活動、キャリア支援などを行っています。アニュアルレポートや企業ウェブサイトを対象に本ガイドラインをベースとした「ＩＲベストプラクティス賞」を年１回開催し、優秀なＩＲ活動を実践する企業や個人を表彰しています。

■「ＰＦＰ2018」に関する問合せ先

株式会社プロネクサス気付ＰＦＰ事務局　水野・小俣　Tel.03-5777-3609

（ご参考）「ＰＦＰ2018」の表紙および目次





以　上